

政策シート

政策名
03 はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して

予算費目名
01 交通政策推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策

03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。

- 交通計画推進事業
都市交通に関する計画の策定及び事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。
- 公共交通推進事業
市民生活に必要な移動サービスを提供するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図る。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業
沿線住民の生活基盤となっている天竜浜名湖線を存続し、安定したサービスを提供するため、経営支援を行う。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	455,455	528,318	691,611	770,369	822,427	753,381
決算	427,847	506,458	556,590	591,453	767,372	638,564
人件費(報酬等)(A)	854	277				
人件費(人工分)(B)	86,900	72,900	69,440	68,660	77,800	70,800
年間経費(決算+A+B)	515,601	579,635	626,030	660,113	845,172	709,364

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
公共交通機関利用者数	万人	目標	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802
		実績	5,138	3,513	3,660	4,042	4,383	2026.5頃確定
主要な駅、バス停の利用者	千人	目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
		実績	27,680	18,410	19,850	22,860	2025.8頃確定	2026.5頃確定
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。

- 交通計画推進事業
市交通に関する計画の策定及び事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供するための調査・調整を実施。
- 公共交通推進事業
市民生活に必要な移動サービスを提供するため、路線バス等の運行を支援するとともに、自主運行バス・地域バスを運行した。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業
沿線住民の生活基盤となっている天竜浜名湖線の運行に対し支援を行い、安定したサービスの提供した。

<進捗> 計画通り

- 交通計画推進事業
・現在のバス路線を維持すると共に、今後、公共交通を再編(リ・デザイン)し利便性向上による利用増進を図ることを目的に、市内交通事業者と協定を締結した。
- 公共交通推進事業
・遠州鉄道鉄道路線の耐震対策に対し助成を実施した。第一通りのバリアフリー化・耐震対策に係る工事を実施。
- ・地域バスにおけるICTシステム活用した運行を継続した。(2地区)
- ・遠州鉄道の路線バス退出申し出に対し、新たに交通事業者、地元自治会、市の三者で協定を締結し、地元のバス利用者増の取り組みを前提に、市が運行経費の一部を負担する制度を継続。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業
・2024～2028年度の天竜浜名湖鉄道株式会社による経営計画に基づき、県及び沿線市町と協力して経営支援を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	交通計画推進事業	○	○		25,518	68,988	3.6				
2	公共交通推進事業	○	○		424,195	428,986	2.9	0.2			
3	天竜浜名湖鉄道経営支援事業	○	○		234,953	246,376	1.1				
4	旧駐車場施設管理事業(旧東田町地下駐車場管理事業)	—	—		9,993	4,969	0.5	0.6			
5	交通政策推進運営経費(一般諸経費のみ)	—	—		14,705	4,062	1.5	0.2			
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					709,364	753,381	9.6	1.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 03	政策 03	予算費目 01	所属コード 002106000	事業 01	(担当課) 交通政策課	(責任者) 土居 亮太	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 01 交通計画推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

本市の都市交通に関する調査、協議及び各種交通計画を策定するとともに、計画に基づく事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2001	-	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-4(1)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市		⑬気候変動							
事業とゴールの関連性		都市交通に関する調査、協議及び各種交通計画を策定することで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	32,462	7,237	7,871	50,578	39,618	68,988
	決算	32,462	4,182	7,563	49,486	38,652	318
	国・県支出	4,026			16,300	12,700	
	市債						
	その他						
	一般財源	28,436	4,182	7,563	33,186	25,952	318
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)		854	277				
人件費(人工分)(B)		33,600	27,300	19,600	20,660	27,300	25,200
人工	正規	4.8	3.9	2.8	2.9	3.9	3.6
	再任用(31h)				0.1		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		66,916	31,759	27,163	70,146	65,952	25,518

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
公共交通機関利用者数(万人)		目標	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802
		実績	5,138	3,513	3,711	4,042	4,383	2026.5頃確定
主要な駅、バス停の利用者(千人)	Ⅲ-4(1) イ	目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
		実績	27,680	18,410	19,850	22,860	2025.8頃確定	2026.5頃確定
IT等を活用とした地域バスの実証運行(地域)		目標	1	1	2	2	2	3
		実績	1	1	2	2	2	2
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	03	01	002106000	01	交通政策課	土居 亮太	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・地域公共交通会議等で、交通施策について協議した。
- ・県と共同で西遠都市圏総合交通体系調査を実施(3年計画の3年目)。
- ・バス路線の維持および、今後の公共交通再編(リ・デザイン)に協力して取組むための協定を市内交通事業者と締結。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・庄内地区の共助型交通の開始や地域バスの運行などのため、地域公共交通会議、地域公共交通活性化研究会で必要な協議を実施
- ・県と共同で西遠都市圏総合都市交通体系調査3年目を実施
- ・バス路線の維持および、今後の公共交通再編(リ・デザイン)に協力して取組むための協定を市内交通事業者と締結。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍による生活様式の変化に伴い公共交通利用者の減少が続いた。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・県と共同で西遠都市圏総合交通体系調査を実施した(3年計画の3年目)。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き市内の交通手段の確保のための協議・研究を継続する。
- ・都市交通マスタープランの策定
- ・公共交通再編(リ・デザイン)に向けた民間交通事業者との調整を開始する。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 03	政策 03	予算費目 01	所属コード 002106000	事業 02	(担当課) 交通政策課	(責任者) 土居 亮太	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 02 公共交通推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地球環境問題、高齢化社会、交通渋滞の課題に対応するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2001	—	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-4(1)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
事業とゴールの関連性		高齢化社会、交通渋滞の課題に対応するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図ることで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	314,894	309,352	549,452	588,163	666,187	428,986
	決算	287,286	292,423	445,812	421,753	613,874	403,175
	国・県支出					99,696	95,354
	市債					44,800	64,900
	その他	3,994	6,867	26,201	18,528	12,592	15,555
	一般財源	283,292	285,556	419,611	403,225	456,786	227,366
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		32,900	25,900	18,200	17,500	15,420	21,020
人工	正規	4.7	3.7	2.6	2.5	2.1	2.9
	再任用(31h)					0.2	0.2
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		320,186	318,323	464,012	439,253	629,294	424,195

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
主要な駅、バス停の利用者(千人)	Ⅲ-4(1) イ	目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
		実績	27,680	18,410	19,850	22,860	2025.8頃確定	2026.5頃確定
JR弁天島駅のバリアフリー化(%)		目標	10	4	12	100	—	—
		実績	4	4	4	4	—	—
遠鉄八幡駅のバリアフリー化(%)		目標	10	4	53	100	100	100
		実績		5	32	68	81	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	03	01	002106000	02	交通政策課	土居 亮太	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 身近な公共交通である路線バスの利用実態に合わせた運行を継続。
 - ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付。(2路線)
 - ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(北遠本線)
 - ・13地域における地域バスの運行。
 - ・交通事業者から退出の申し出のあった路線のうち、交通事業者・地元自治会・市の3者で協定を締結し、2年間の路線維持を決定した3路線について、運行経費の一部を負担。
- 公共交通空白地有償運送を実施している団体に対して補助金を交付。(2団体)
- 公共交通空白地において、地域住民同士の助け合いによる「共助型交通」を導入する団体に対して支援を実施。(1団体)
- 鉄道事業者が行う駅のバリアフリー化施設整備事業に対して補助金を交付。
- 鉄道事業者が行う鉄道施設の耐震対策事業に対して補助金を交付。
- 遠州鉄道八幡駅周辺の道路施設のバリアフリー化を推進
- バス路線の維持および公共交通再編(リ・デザイン)に向けた民間事業者との協議

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進めた。
 - ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付した。(2路線)
 - ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行した。(北遠本線)
 - ・13地域で運行している地域バスについて改善運行策を検討し、生活交通の確保に努めた。
 - ・3者で協定を締結した3路線について、定期的に3者で会合を実施し、利用促進に努めた。
- 共助型交通を行う団体に対して、必要な支援を行った。
- 遠州鉄道鉄道線耐震対策を推進するため、国への要望活動を実施し、2024年度実施事業の国補助採択を得た。
- 八幡駅に接続する歩道橋及び歩道のバリアフリー化工事を進めた。
- 遠州鉄道株式会社と協定を締結した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍による在宅勤務・オンライン学習の推進などの社会情勢の変化

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進めた。
 - ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(2路線)
 - ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(北遠本線)
- 13地域で運行している地域バスについて改善運行策を検討し、生活交通の確保に努めた。
- 遠州鉄道の路線バス退出申し出に対し、新たに交通事業者、地元自治会、市の三者で協定を締結し、地元のバス利用者増の取り組みを前提に、市が運行経費の一部を負担する制度を創設し、地元と協議を進めた。
- 遠州鉄道鉄道線の耐震対策に助成を行った。また、八幡駅に接続する歩道橋及び歩道のバリアフリー化工事を実施。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・三者で協定を締結し継続した3路線バスの、利用啓発につとめ、今後のあり方について3者で協議を進める。
- ・公共交通の利用促進を図るためサイクル&ライド用駐輪場、パーク&ライド用駐車場については、交通事業者と連携し整備を図る。
- ・遠州鉄道株が実施するバリアフリー化・耐震対策に対する助成を実施する。特に、遠州鉄道鉄道線の高架駅で唯一エレベーター未設置の第一通り駅の整備について、引き続き事業者と調整し進める。
- ・今後も公共交通網が維持できるよう交通事業者と協議をしていく。
- ・公共交通再編(リ・デザイン)に向け交通事業者と協議をしていく。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 03	政策 03	予算費目 01	所属コード 002106000	事業 03	(担当課) 交通政策課	(責任者) 土居 亮太	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 03 天竜浜名湖鉄道経営支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

沿線住民の生活基盤となっている天竜浜名湖鉄道を存続し、安定した沿線住民へのサービスを提供するために経営支援を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市天竜浜名湖鉄道経営助成基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市		⑬気候変動						
事業とゴールの 関連性		天竜浜名湖鉄道(株)の経営安定化と、安全な列車運行のため必要な施設整備を図ることで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	98,187	190,175	121,313	111,026	107,688	246,376
	決算	98,187	190,174	93,313	102,073	107,686	227,253
	国・県支出		60,000				60,000
	市債						5,000
	その他	28,497	32,424	2,003	21,113	39,778	44,893
	一般財源	69,690	97,750	91,310	80,960	67,908	117,360
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,260	4,260	10,640	11,200	11,200	7,700
人工	正規	0.3	0.3	1.2	1.6	1.6	1.1
	再任用(31h)	0.6	0.6				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.8			
年間経費(決算+A+B)		102,447	194,434	103,953	113,273	118,886	234,953

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
利用者数(千人)		目標	1,563	1,574	1,585	1,596	1,608	1432
		実績	1,513	1,146	1,233	1,333	1404	1397
旅客収入(千円)		目標	417,325	422,125	427,039	432,065	437,207	378,839
		実績	411,158	288,964	320,237	343,756	366,755	371,660
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	03	01	002106000	03	交通政策課	土居 亮太	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

●経営助成事業(補助金)

- ・天竜浜名湖鉄道㈱の経営安定化を図るとともに、安全な列車運行のため必要な施設整備に対する助成を実施。
- ・2023年度に天竜浜名湖鉄道㈱が策定した経営計画に基づき支援を実施。
(経営計画:2024年度～2028年度における、経営助成及び施設整備費の計画)

- ・負担率は、県:1/2 沿線市町1/2。

●天竜浜名湖鉄道経営助成基金積立金

- ・天竜浜名湖鉄道の経営支援を行うための基金を管理

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・経営計画に基づき、天竜浜名湖鉄道株式会社へ経営助成及び自然災害復旧費支援のため助成を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

沿線人口の減少による利用者の減少

国の地方鉄道のリデザインに係る制度改正

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・天竜浜名湖鉄道(株)が策定した経営計画に基づき経営助成及び自然災害復旧に対する支援を行ったものの、コロナ禍による大幅な利用者・収入減に伴い目標達成は困難な状況。
- ・昨年度に引き続き天竜浜名湖鉄道㈱、教育委員会と協力し、希望のあった小学校の低学年(1～3年生)に対し、1日乗車券を配布し、新たな地元の需要獲得や啓発に努めた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・コロナ禍からの回復状況を踏まえ天浜線が策定した次期経営計画2024～2028に基づき、県、沿線市町と協調して支援
- ・車両老朽化に対応するため、毎年度1両ずつ車両更新を実施(車両製造に2ㄱ年を要するため導入は2025年度から)。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 03	政策 03	予算費目 01	所属コード 002106000	事業 04	(担当課) 交通政策課	(責任者) 土居 亮太	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 04 旧駐車場施設管理事業(旧東田町地下駐車場管理事業)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

2021年12月をもって閉鎖した旧東田町地下駐車場の施設管理を行うもの

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2022	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				16,570	4,929	4,969
	決算				14,746	3,531	4,333
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源				14,746	3,531	4,333
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					5,640	7,760	5,660
人工	正規				0.6	0.8	0.5
	再任用(31h)				0.4	0.6	0.6
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)					20,386	11,291	9,993

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	03	01	002106000	04	交通政策課	土居 亮太	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

旧東田町地下駐車場施設の維持管理を実施した。
撤去工事を行う前に、施設の他用途への活用について検討した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

旧東田町地下駐車場施設の維持管理を実施した。
撤去工事を行う前に、施設の他用途への活用について検討した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

撤去工事を行う前に、施設の他用途への活用について検討した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き庁内関係部局と他用途への活用可否について検討・調整を行う。
- ・施設を最低限存続するための維持管理を行う。

事業シート

(事業名) 05 交通政策推進運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	9,912	21,554	12,975	4,032	4,005	4,062
	決算	9,912	19,679	9,902	3,395	3,629	3,485
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	9,912	19,679	9,902	3,395	4,005	3,485
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,140	15,440	21,000	13,660	16,120	11,220
人工	正規	2.1	2.0	3.0	1.9	2.2	1.5
	再任用(31h)	0.4	0.4		0.1	0.2	0.2
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		26,052	35,119	30,902	17,055	19,749	14,705

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート 政策名 はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して

予算費目名 駐車場事業特別会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。このため、市営4駐車場を供用することにより、中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	561,973	463,000	412,280	414,609	372,705	389,444
決算	548,262	451,951	402,202	409,174	368,730	370,563
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	7,000	7,000	10,360	11,620	9,800	9,800
年間経費(決算+A+B)	555,262	458,951	412,562	420,794	378,530	380,363

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
廃止・売却する駐車場	箇所	目標				4		
		実績				1		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・市営駐車場の指定管理者(2025～2027)を公募した。
・駐車場需給バランス調査を実施した。
・ザザシティ駐車場の施設老朽化修繕に向けた、鉄骨腐食調査及び改修方法検討業務を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・市営4駐車場(新川北・駅北・ザザシティ・駅南地下)を指定管理者制度(利用料金制)により管理運営を実施した。 ・指定管理(利用料金制)により施設を運営し、施設機能を維持するため、各駐車場の修繕を行った。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	駐車場事業	—	—		380,363	389,444	1.4				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					380,363	389,444	1.4				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 03	政策 03	予算費目 03	所属コード 002106000	事業 01	(担当課) 交通政策課	(責任者) 土居 亮太	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 01 駐車場事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1964	-	特別会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	市営駐車場を供給することにより、中心市街地での交通渋滞や違法駐車の手抑制が図られ、中心市街地での機能向上と、よりよい交通環境が整えられ、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	561,973	463,000	412,280	414,609	372,705	389,444
	決算	548,262	451,951	402,202	409,174	368,730	370,563
	国・県支出						
	市債						
	その他	8	3	6	194		159
	一般財源	391,546	390,665	367,180	375,289	364,074	369,285
	一般会計繰入金	156,708	61,283	35,016	33,691	4,656	1,119
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	7,000	10,360	11,620	9,800	9,800
人工	正規	1.0	1.0	1.4	1.5	1.4	1.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.4		
年間経費(決算+A+B)		555,262	458,951	412,562	420,794	378,530	380,363

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
廃止・売却する駐車場(箇所)		目標				4		
		実績				1		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	03	03	002106000	01	交通政策課	土居 亮太	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・市営4駐車場(新川北・駅北・ザザシティ・駅南地下)を指定管理者制度(利用料金制)により運営を行った。市営駐車場の指定管理者(2025～2027)を公募した。
- ・駐車場需給バランス調査を実施した。
- ・ザザシティ駐車場の施設老朽化修繕に向けた、鉄骨腐食調査及び改修方法検討業務を行った。
- ・廃止した新川南駐車場の施設撤去に向けた詳細設計を実施した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市営4駐車場(新川北・駅北・ザザシティ・駅南地下)を指定管理者制度(利用料金制)により運営を行った。市営駐車場の指定管理者(2025～2027)を公募した。
- ・駐車場需給バランス調査を実施した。
- ・今後、ザザシティ駐車場、駅南地下駐車場の改修に加え廃止した駐車場の撤去を行うにあたり、その財源確保が課題となる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・駐車場施設の老朽化
- ・アクトシティの改修やザザシティ西館のテナントなど駐車場周辺の環境変化

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
ザザシティ駐車場売却を含む2029年度までの経営戦略の策定

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ザザシティ駐車場の改修に向けた調査を実施を行う
- ・駐車場需給バランス調査を実施し、機械式駐車場撤去を含む駅南地下駐車場の大規模改修に向け、都市計画決定の変更など必要となる手続きの準備を開始する。
- ・駅南地下駐車場の改修に向けた基本設計を行う。